

- 問1 室町時代から戦国時代にかけて、家臣が主君に打ち勝って実力を伸ばすなどの風潮が広がりました。このような下剋上の風潮の中で、戦国大名が家臣の行動を取りしめ、領国を独自に支配するために定めた法律を何といいますか。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
1. 武家諸法度                      2. 分国法                      3. 公家諸法度                      4. 御成敗式目
- 問2 島根県に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の良質な銀を生産したことで知られ、2007年にはその歴史的価値が認められて世界文化遺産に登録された鉱山を選んでください。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
1. 足尾銅山                      2. 佐渡金山                      3. 石見銀山                      4. 生野銀山
- 問3 1543年に種子島に漂着した船により、日本に初めて鉄砲が伝えられました。当時の種子島の鍛冶職人がその仕組みを学び国産化を進めたといわれる、この武器を日本に伝え、後に長崎などを拠点にキリスト教の布教を伴う貿易を行った国はどこですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
1. オランダ                      2. ポルトガル                      3. スペイン                      4. イギリス
- 問4 平安時代中期から安土桃山時代にかけて、武士が政治の主導権を握っていく過程で起きた次の4つの出来事を、発生した時期の古い順に並べたものとして正しい説明を選びなさい。 1. 平将門が関東で反乱を起こし、「新皇」と称した。 2. 平清盛が武士として初めて最高官職である太政大臣に就任した。 3. 北条泰時が、御家人の裁判の基準を明確にするため御成敗式目を制定した。 4. 織田信長が、室町幕府の将軍であった足利義昭を京都から追放した。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
1. 「平清盛の太政大臣就任」→「平将門の乱」→「御成敗式目の制定」→「織田信長による足利義昭の追放」                      2. 「平将門の乱」→「御成敗式目の制定」→「平清盛の太政大臣就任」→「織田信長による足利義昭の追放」                      3. 「平将門の乱」→「平清盛の太政大臣就任」→「御成敗式目の制定」→「織田信長による足利義昭の追放」                      4. 「平将門の乱」→「平清盛の太政大臣就任」→「織田信長による足利義昭の追放」→「御成敗式目の制定」
- 問5 室町時代後期、応仁の乱をきっかけに幕府の権威が衰えると、実力で領地を拡大する戦国大名が登場しました。彼らが自らの領国内の武士や民衆を統治し、秩序を維持するために独自に定めた法を何といいますか。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
1. 武家諸法度                      2. 分国法                      3. 御成敗式目                      4. 公事方御定書
- 問6 戦国大名の武田晴信（信玄）が定めた「甲州法度之次第」のように、大名が独自に法を定めた背景を説明した次の文の（ ）に当てはまる語句を答えなさい。「戦国大名は、幕府の法が及ばなくなった自分の（ ）において、家臣の勝手な婚姻を制限したり、領民を管理したりすることで支配を強化しようとした。」 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 藩                      2. 幕領                      3. 領国                      4. 荘園
- 問7 武士に関わる法律の歴史について、鎌倉時代に北条泰時が制定した「御成敗式目」、江戸時代に幕府が大名を統制するために制定した「武家諸法度」、そして戦国時代に各大名が領国支配のために制定した法律を順に並べたものとして適切なものはどれですか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 武家諸法度 - 分国法 - 御成敗式目                      2. 御成敗式目 - 武家諸法度 - 分国法                      3. 分国法 - 御成敗式目 - 武家諸法度                      4. 御成敗式目 - 分国法 - 武家諸法度
- 問8 15世紀後半から約11年間にわたって京都を中心に続き、その後の略年表において「下剋上」の風潮が全国に広まるきっかけとして記される戦乱はどれですか。 (2018年 静岡県公立入試 類似)
1. 観応の擾乱                      2. 壬申の乱                      3. 承久の乱                      4. 応仁の乱
- 問9 戦国大名が領国内の武士や民衆を統制するために定めた「分国法（分国章程）」に関連する記述として最も適切なものはどれですか。なお、法の中には家臣同士の私的な争いを禁じる「喧嘩両成敗」などの規定が含まれているものとします。 (2018年 秋田県公立入試 類似)
1. 家臣たちが実力で主君をしのぐ下剋上の動きを抑え、領内の秩序を維持するために制定された。                      2. 全国の戦国大名が共通のルールを持つことで、大名間の和平を促進するために制定された。                      3. 朝廷から与えられた公家法をそのまま適用し、京都の文化を地方に広めるために制定された。                      4. 農民が団結して一揆を起こすことを推奨し、幕府の権威を完全に否定するために制定された。
- 問10 戦国大名の武田氏にゆかりのある、現在の山梨県に位置する武田神社付近には、かつて大名の館を中心とした町が形成されていました。このように大名が家臣や商工業者を集めて町を作った主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
1. 有力な寺社への参拝客を増やすことで、宗教的な権威を利用して領民を支配するため                      2. 海外との貿易を独占するために、海岸線に面した土地に防衛拠点を築くため                      3. 家臣を一定の場所に集めて統制し、商工業を振興して領国の経済と軍事を支えるため                      4. 交通の要所に休憩所を設けることで、旅人の利便性を高め、通行税を徴収するため
- 問11 フランシスコ＝ザビエルによる日本での活動に関する説明として、最も適切なものはどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
1. 織田信長と会見し、京都での布教と南蛮寺の建設を許された。                      2. 大名らに勧め、天正遣欧少年使節をローマへ派遣させた。                      3. 種子島に漂着し、領主の種子島時堯に鉄砲を伝えた。                      4. 1549年に鹿児島へ上陸し、キリスト教の布教を始めた。
- 問12 ポルトガルがバスコ・ダ・ガマを派遣し、アフリカ南端を経由するインドへの新航路を開拓させた主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
1. イスラム商人やイタリア諸都市に仲介料を奪われず、高価な香辛料を直接入手するため。                      2. 北アメリカ大陸にあると信じられていた黄金の国「ジバング」を探索するため。                      3. 地動説を証明するために、西回りで航海して地球を一周することが目的であったため。                      4. 当時中国を支配していた元との貿易を拡大し、絹織物や陶磁器を大量に輸入するため。
- 問13 戦国時代の堺において、自治的な運営を支えた商人の経済力や、当時の文化的な背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)
1. 朝廷からの特権を得た公家たちが、伝統的な和歌や蹴鞠の文化を町衆に広めた。                      2. 勘合貿易の独占によって得た利益を背景に、幕府の役人が直接町を支配した。                      3. キリスト教の布教を認める代わりに、南蛮貿易を独占してヨーロッパの文化のみを追求した。                      4. 会合衆と呼ばれる商人たちが町を治め、鉄砲の製造技術を取り入れることで軍事的・経済的地位を高めた。
- 問14 島根県に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の銀を産出した日本最大級の銀山で、2007年に世界文化遺産に登録された場所を次の中から選びなさい。 (2016年 鳥取県公立入試 類似)
1. 石見銀山                      2. 佐渡金山                      3. 別子銅山                      4. 生野銀山